

## WHAT MUSEUM、「建築模型展 -文化と思考の変遷-」を開催

古代から現代まで、建築における模型なるものを総覧

寺田倉庫株式会社（東京都品川区 代表取締役社長：寺田航平）が運営する現代アートのコレクターズミュージアム「WHAT MUSEUM（ワットミュージアム）」は、2022年4月28日（木）から10月16日（日）まで「建築模型展 -文化と思考の変遷-」を開催いたします。



日本の歴史をさかのぼると、模型は古くから建築を制作するための手本として、またその時代の建築文化を伝達する媒体としての役割を果たしてきました。現代においては、建築物が完成に至るまでの試行や検討のツールとしてはもちろん、材料や技術の発展に伴って、建築家自身の思考や表現にも影響を与えてきており、その役割は現在も進化を続けています。

本展では時代や作り手の思考と共にあり方を変えてきた建築模型に着目し、古代から現代における歴史的な文脈の中で、建築模型がどのような役割を果たしてきたのかを考察し、その意義に迫ります。会場には、古墳時代の家形埴輪や江戸時代に制作された延岡城木図といった歴史ある模型をはじめ、現代建築家・磯崎新による「東京都新都庁舎計画」のアンビルト\*模型や三合一博志による「直島ホール」の風洞実験模型など20点以上を展示します。また会期中には、出展建築家や当施設スタッフが展覧会を案内する「ギャラリーツアー」や、模型制作を体験できるワークショップも予定しています。詳細は、WHAT MUSEUM 公式サイトにて随時発表いたします。

\*アンビルト：建てられていない建築。Unbuilt

## 【開催概要】

展覧会名：建築模型展 -文化と思考の変遷-

会期：2022年4月28日（木）～10月16日（日）

\* 2022年7月4日（月）～8月5日（金）の期間は、同時開催の展示入れ替えのため休館

会場：WHAT MUSEUM 1階（〒140-0002 東京都品川区東品川 2-6-10 寺田倉庫 G号）

開館時間：火～日 11時～18時（最終入場 17時）月曜休館（祝日の場合、翌火曜休館）

入場料：一般 1,200円、大学生/専門学校生 700円、高校生以下 無料

※同時開催の OKETA COLLECTION「Mariage -骨董から現代アート-」展（前期）、または OKETA COLLECTION「YES YOU CAN -アートからみる生きる力-」展（後期）の観覧料を含みます

※チケットは2022年4月上旬より発売開始。詳細は WHAT MUSEUM 公式サイトをご確認ください

※模型保管庫見学（オプション）500円

主催・企画：WHAT MUSEUM

企画協力：若林拓哉、瀬尾憲司

会場・什器デザイン：萬代基介建築設計事務所

撮影：瀬尾憲司

グラフィックデザイン：SKG

イラスト：Miltata

協力：一般社団法人日本建築学会 建築と模型 [若手奨励] 特別研究委員会、三宅理一

公式サイト：<https://what.warehouseofart.org/exhibitions/architecturalmodel>

## 【本展覧会の見どころ】

### 古墳時代の家形埴輪から現代建築家の模型まで「建築模型なるもの」を総覧

古墳時代の家形埴輪、江戸時代の延岡城木図や茶室起こし絵図、昭和30年代に制作された高床建物復元模型など、時代ごとの貴重な「建築模型なるもの」をはじめ、現代建築家の建築模型が集結。時代に応じて役割や意味合いを変化させ続けてきた模型の変遷を記した年表とともに総覧します。



家形埴輪 © 國學院大學博物館



延岡城木図 © 坂井市教育委員会 丸岡城国宝化推進室

### 磯崎新、隈研吾 + 篠原聡子、SANAA 妹島和世 + 西沢立衛、三分一博志、藤森照信など、現代建築家による多様な模型を展示

磯崎新による「東京都新都庁舎計画」のアンビルト模型、SANAA 妹島和世 + 西沢立衛による「Rolex Learning Center, EPFL」、三分一博志による「直島ホール」の風洞実験模型、藤森照信により1本の丸太から制作された模型「ワニ」を展示。また、30年以上前に制作された隈研吾 + 篠原聡子による「伊豆の風呂小屋」の再現模型を本展にて初公開。現代建築家による貴重かつ多様な模型を鑑賞できます。



「直島ホール」風洞実験模型  
©三分一博志建築設計事務所



SEJIMA Kazuyo + NISHIZAWA Ryue / SANAA  
Rolex Learning Center, EPFL, Switzerland  
Photo by 椎木静寧 (所蔵：東京都現代美術館)

### コミュニケーションツールとしての建築模型、記憶の継承を目的とした建築模型の展示

オンデザインパートナーズによる触れられる模型「町田芹ヶ谷公園」芸術の杜”プロジェクト パークミュージアム」を展示。来場者も模型に直接触れることができます。また、震災により失われた街や村を 1/500 の縮尺の模型で復元し、地域に育まれてきた街並みや環境、人々の暮らしの中で紡がれてきた記憶を保存・継承していくことを目指す「失われた街」模型復元プロジェクトの模型をその取り組みとともに展示します。



オンデザインパートナーズ  
「町田芹ヶ谷公園」芸術の杜”プロジェクト パークミュージアム」  
Photo by 加藤甫



「失われた街」模型復元プロジェクト  
「大島-長崎・小田の浜」模型  
Photo by 藤井達也

### 【出展建築家（予定）】（敬称略・五十音順）

相田武文、秋吉浩気 | VUILD、磯崎新、オンデザインパートナーズ、川口衛、隈研吾 + 篠原聡子、SANAA 妹島和世 + 西沢立衛、三分一博志、瀧澤真弓、noiz、藤森照信、山田紗子、山本理顕 他

### 【出展協力】

一般社団法人ふるさとの記憶ラボ、「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会 + 気仙沼大島みらいチーム、大分市美術館、公益財団法人福岡文化財団、國學院大学博物館、坂井市教育委員会 丸岡城国宝化推進室、茅野市美術館、東京都現代美術館、武庫川女子大学建築学部 岡崎甚幸学部長、早稲田大学創造理工学部建築学科 小岩正樹研究室

### 【イベント情報】

#### ■ギャラリーツアー「建築模型ってなんだろう？」

講師：出展建築家、WHAT MUSEUM 建築倉庫プロジェクトスタッフ



■ みんなの「広場」を建築模型でつくろう！

講師：オンデザインパートナーズ

日時：7月中旬～8月下旬

■ 古墳時代にタイムスリップ -家形埴輪を知ろう！-

講師：深澤太郎（國學院大學博物館 准教授）

日時：7月上旬～9月下旬

■ 手元で賞（め）でる茶室の世界

講師：三井嶺（建築家）

日時：7月上旬～9月下旬

※イベント詳細については、公式サイトにて随時お知らせします

【WHAT MUSEUM について】 <https://what.warehouseofart.org>

2020年12月、東京・天王洲にオープンした「WHAT MUSEUM」。寺田倉庫が作家やコレクターからお預かりしている貴重なアート作品を公開する芸術文化発信施設です。倉庫会社としての美術施設はどう在るべきかを模索し、たどり着いたのは「倉庫を開放、普段見られないアートを覗き見する」というユニークなコンセプトでした。作家の思いはもちろん、作品を収集するコレクターのこだわりを大切な作品とともに展示。アートとの出会いの場を創出します。倉庫内で静かに光を放つ文化的価値を暗示した、WHAT（WAREHOUSE OF ART TERRADA）の名のもとに展示されるのは、平面や立体のアート作品をはじめ、建築模型、写真、映像、文学、インスタレーションの数々。これらの多様な芸術文化を、倉庫会社ならではの美術館のかたちとして、新たな切り口で企画・展示を行っています。

【模型保管庫見学について】

WHAT MUSEUM に隣接する模型保管庫では、建築家や設計事務所からお預かりした600点以上の建築模型を保管・一部を展示しています。WHAT MUSEUM 入館者は、オプションツアーとして模型保管庫見学に参加することができます。

※WHAT MUSEUM のチケットご予約時にオプションツアーのお申し込みが必要です

【寺田倉庫について】

社名：寺田倉庫株式会社（Warehouse TERRADA）

代表者：代表取締役社長 寺田航平

所在地：〒140-0002 東京都品川区東品川 2-6-10

設立：1950年10月

URL：<https://www.terrada.co.jp>

【本展覧会および WHAT MUSEUM に関するお問い合わせ先】

寺田倉庫 WHAT MUSEUM チーム E-MAIL：[info.what@terrada.co.jp](mailto:info.what@terrada.co.jp)

【報道関係者お問い合わせ先】

寺田倉庫 広報グループ E-MAIL：[pr@terrada.co.jp](mailto:pr@terrada.co.jp)